

【平成 18 年度（2006 年度）年度以前の入学者に適用する成績評価の表示方法】

合 否	評 定	記 号	説 明
合 格 (単位修得)	優	S, A	「S」評価は、応用化学科及び電子工学科の平成15年度以降の入学者を対象とする。
	良	B	
	可	C	
不合格 (単位未修得)	不 可	D	
	不 可	F	履修放棄、試験未受験を示す。
単位修得	認 定	N	認 定。
単位修得	認 定	G	入学前の既修得単位が認定されたことを示す。

成績評価は、100 点満点として、80 点以上を優（A＝80～100 点）、70 点以上を良（B＝70～79 点）、60 点以上を可（C＝60～69 点）、60 点未満を不可（D）とし、可（C）以上を合格としています。

なお、応用化学科と電子工学科における優の成績表示は、平成 15 年度以降の入学者から、80 点以上を「A」、90 点以上を「S」と表示しています。

5. 2 成績の発表

前期末成績の発表は9月の下旬、学年末成績の発表は2月中旬に行います。成績発表の期日についてはあらかじめ掲示します。

なお、2～4年への進級・卒業判定の発表は3月上旬に掲示して発表します。

成績に関する学生の質問は、指定された成績発表日に限り認められています。

担当教員宛に「成績質問カード」を記入の上、教務課へ提出して下さい。

5. 3 成績通知書の送付

学生個々の成績表は、個人情報の取扱いに準じて、教務課から保証人（父母など）宛に送付します。

前期末までの成績通知書は10月の下旬、学年末までの成績通知書は3月下旬に送付します。

学生は、常に緊張感をもって学習に取り組んで下さい。

なお、インターネットを利用して閲覧することが出来ます。詳しくはホームページをご覧ください。

6 再履修

履修した授業科目の単位を取得できなかったときは、その科目の履修をもう一度はじめてやり直すこととなります。これを再履修といいます。再履修科目の履修登録や試験などは、新規履修の場合と同じです。

再履修にあたっては、次の点に注意して下さい。

- ① 必修科目の単位を取得できなかったときは、必ず再履修する。
- ② 選択必修科目、選択科目の単位を取得できなかったときの再履修科目は、各自の選択によりますが、進級や卒業に必要な単位数を修得できるよう選定する。

- ③ 再履修科目の開講については、各学期始めの学科別履修ガイダンスのときに対応する授業科目又は再履修の方法を指示します。必ず履修ガイダンスに出席して下さい。
- ④ 下級学年の授業科目を履修する場合は、入学年度によりカリキュラムが異なるので、必ず学生便覧記載の「再履修に関する授業科目読替対応表」を参照して下さい。